

令和4年度 第2回 安城市文化財保護委員会

日 時 令和4年10月29日(土)
午後2時から午後3時30分まで
場 所 安城市歴史博物館講座室

市民憲章唱和(省略)

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 安城市所在の指定文化財管理調査の結果について 【資料1】

(2) 令和5年度文化財保存事業費補助金の予算要求について

3 報告事項

(1) 本證寺境内の台風15号被害について

(2) 県指定天然記念物「榎前のクロガネモチ」の指定解除について

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。

わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

* たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょ
う。

* きまりを守り、良い習慣を育てましょう。

* 自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくり
ましょう。

* 教養を高め、若い力を育てましょう。

* 健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

安城市文化財保護委員名簿

任期：令和6年4月30日まで
(50音順)

	氏名	役職	就任年月	備考
1	あまの 天野 淳	愛知県立半田農林高校校長	H22.5.1	植 物
2	あんどう 安藤 弥	同朋大学教授	H26.5.1	仏教史
3	いづか 飯塚 恵 理人	椛山女学園大学教授	H28.5.1	芸能史
4	(副委員長) いわた 岩田 敏也	東海工業専門学校非常勤講師	H22.5.1	建築史
5	かたおか 片岡 晃	安城市歴史博物館館長	R元.5.1	博物館長
6	かみや 神谷 菜穂	日本美術院 院友(元名古屋城本丸御殿障壁画復元模写従事)	H30.5.1	美術修復
7	(委員長) かみや 神谷 浩	徳川美術館副館長	R2.5.1	美 術
8	かわさき 川崎 みどり	日本考古学協会会員	H8.5.1	考 古
9	たかす 鷹巣 純	愛知教育大学教授	H26.5.1	美 術
10	のもと 野本 欽也	西尾市史編集委員	H26.5.1	民 俗

2 協議事項

(1) 安城市所在の指定文化財管理調査の結果について

管理調査先一覧

1 班	種別	名称	所在町	管理者	員数	時代	指定	備考
神谷浩 岩田 天野 片岡 (後藤)	絵画	方便法身尊像	川島町	西心寺	一幅	室町	市	
	登録有形	本堂	川島町	西心寺	一棟	江戸	登録	R3 新規
	登録有形	山門	川島町	西心寺	一棟	江戸	登録	R3 新規
	建造物	桜井神社本殿	桜井町	桜井神社	一棟	室町	市	神社要望
	史跡	三河三白山・桜井神社	桜井町	桜井神社	13025.65	室町～江戸	市	
	天然記念物	桜井神社のクロマツ	桜井町	桜井神社	桜井神社参道		市	
	有形民俗	桜井神社の絵馬	桜井町	桜井神社	一面	江戸	市	
	有形民俗	算額	桜井町	桜井神社	二面	江戸	県	市指定は寄託
	有形民俗	安城市場神	安城町	東尾町内会	二基		市	
	史跡	本多忠豊墓碑	安城町	大乘寺	95	江戸	市	
史跡	筒井泉跡	安城町	安城市	14.8	室町	市		

2 班	種別	名称	所在町	管理者	員数	時代	指定	備考
神谷浩 川崎 安藤 飯塚 (河村)	絵画	方便法身尊像	寺領町	松韻寺	一幅	室町	市	
	考古	寺領廃寺出土遺物	寺領町	松韻寺	55点	奈良～鎌倉	市	
	書跡	六字名号 附旧軸木	寺領町	松韻寺	一幅	室町	市	
	彫刻	聖徳太子馬上像	寺領町	松韻寺	一軀	江戸	市	
	史跡	寺領廃寺跡	寺領町	松韻寺・素盞鳴神社他	5985	奈良	市	
	史跡	安城陣屋跡	安城町	若一王子社	300.82	江戸	市	
史跡	東条塚	安城町	安城市	195	室町	市		

3 班	種別	名称	所在町	管理者	員数	時代	指定	備考
神谷浩 鷹巣 神谷菜 野本 (榊原)	絵画	方便法身尊像	東端町	念空寺	一幅	室町	市	
	書跡	六字名号	東端町	念空寺	三幅	室町	市	
	書跡	九字名号	東端町	念空寺	一幅	南北朝	市	
	典籍	御文	東端町	念空寺	二巻	室町	市	
	史跡	東端貝塚	東端町	八劔神社	4669.25	縄文晩	市	
	絵画	日本地図六曲屏風	東端町	個人	一隻	江戸	市	
	史跡	東端城址	東端町	個人	6231.39	室町	市	
	史跡	安城古城址	安城町	西尾町内会	813	鎌倉	市	

(2) 令和5年度文化財保存事業費補助金の予算要求について

今年度はなし

3 報告事項

(1) 本證寺境内の台風15号被害について

経過

【9月23日】

水中ポンプを運転したが、水位は土橋から溢れそうなまで上昇した。

【9月24日～27日】

27日午前まで排水を行い、午後からシートをめくり上げた。

約30mの作業区間のうち、幅0.5～1m程度の4箇所、石垣後ろの締まりの緩い土層が崩落した。

【9月30日】

文化庁へ毀損届提出

【10月6日】

史跡本證寺境内整備検討会議臨時会を開催。石垣修復の方針を説明し、早急に取り掛かることとした。

(2) 県指定天然記念物「榎前のクロガネモチ」の指定解除について

解除までの経緯

【平成27年11月20日】

所有者よりクロガネモチの樹勢が弱いため解除してほしいという要望があり所有者・県・県保護審議委員・市で協議を行う。まだ生きており樹勢回復の可能性があると判断となり解除に至らず。

【令和3年2月3日】

所有者より、かつての樹形がなく枯れている可能性があるため解除してほしい、という要望があり、所有者・市・県で協議を行ったが、生きている部分が見られたため解除に至らず。

【令和3年8月11日】

管理調査で、天野委員から枯れ枝の危険性について指摘され、県保護審議委員を交えて枯れ枝の除去方法について協議することとした。

【令和3年9月16日】

県保護審議委員より、樹勢の回復が見込めないため、指定解除が望ましいという意見が出る。

【令和4年7月29日】

県指定天然記念物の指定解除となる。